

# 文化財保護審議会事業

[364]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	25-0101	実施計画	
施策	05	文化の継承と振興	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	01	文化財、伝統文化の保存と継承	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張旭市教育委員会	尾張旭市文化財保護条例に基づき、市教育委員会が文化財を指定又は解除する場合は、あらかじめ市文化財保護審議会の意見を聞くこととなっており、市文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に答え、又は委員会に意見を具申し、及びこのために必要な調査研究を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
教育委員会の諮問に答え、又は委員会に意見を具申し、尾張旭市における文化財の保存及び活用が円滑に行われている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			19	20	52	20
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	19	20	52

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし
--------	--

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

# 無形民俗文化財保護育成事業

[367]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	25-0103	実施計画
施策	05	文化の継承と振興	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	文化財、伝統文化の保存と継承	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	無形民俗文化財保存会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無形民俗文化財保存会</li> <li>尾張旭市の棒の手(県指定)</li> <li>尾張旭市棒の手保存会(5流派)</li> <li>無二流、検藤流、直心我流、東軍流、直師夢想東軍流</li> <li>尾張旭市の打ちはやし(市指定)</li> <li>尾張旭市打はやし保存会(3地区)</li> <li>井田地区、庄中地区、印場北島地区</li> <li>ざい踊り(市指定)</li> <li>尾張旭市ざい踊り保存会(2団体)</li> <li>鳳采会、みさと会</li> <li>尾張旭市の馬の塔(市指定)</li> <li>尾張旭市馬の塔保存会(4地区)</li> <li>印場地区、新居地区、稲葉地区、三郷地区</li> <li>上記無形民俗文化財保存会に対し、無形民俗文化財の保存継承及び後継者の指導等育成に関することを委託している。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	無形民俗文化財保存会の地区団体数	団体	14	14	14	14
成果指標	無形民俗文化財保存会活動人数	人	909	966	880	1,017
事業費 計			2,635	2,220	2,384	2,411
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他		100		
		オ 一般		2,535	2,220	2,384

## H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 無形民俗文化財保存会活動人数は、昨年度実績と比べ51人増加しています。 (理由) 各地区保存会による伝統行事や親子教室の実施、記録映像の作成等により、ふるさと意識の醸成が図られたことが理由であると考えられます。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	各保存会活動のPR及び後継者確保の取組に努めます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

出張企画展として、市役所庁舎において無形民俗文化財の展示を行った。「尾張旭市の馬の塔」では、次世代を担う子どもたちを対象とした親子教室を、稲葉地区において開催した。「尾張旭市の棒の手」では、後継者育成等に役立つ伝承記録映像をDVDに取りまとめた。

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	25-0105	実施計画
施策	05	文化の継承と振興	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	文化財、伝統文化の保存と継承	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内在住在勤者	<史跡めぐり> ・ふるさとガイド旭を講師として春と秋の各2回開催している。また、夏休み期間中に子ども向け史跡めぐりを開催している。 <郷土の歴史講座> ・隔年で郷土に関連した歴史的なテーマを設定し、講習会等を開催する。 <新春かるた会> ・ふるさとガイド旭監修の「尾張旭ふるさとカルタ」でかるた会を開催する。 <その他> ・民具分類整理及び展示事業・考古に関する展示事業を委託し、歴史民俗フロアにて企画展を開催している。季節や時季に合わせて学芸員によるミニ民具企画展を開催や最近実施した発掘調査結果の特別企画展の開催などフロアの活性化を実施している。またフロア以外の市役所ロビーなどでも出張企画展を実施し、広く尾張旭の歴史等を紹介している。 ・史跡等文化財、案内板の補修を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	適切な史跡管理を行うとともに、史跡等文化財に対する理解が深まり、文化財への保護意識が高まっている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	史跡めぐり・郷土の歴史講座・かるた会開催日数	日	8	6	5	8
	史跡めぐり・郷土の歴史講座・かるた会参加者数	人	205	157	140	254
成果指標	史跡めぐり・郷土の歴史講座を通じて史跡等文化財について理解を深めた人の割合	%	88	80	80	86
	カルタ会を通じて、史跡等文化財について理解を深めた人の割合	%	41	73	80	75
事業費 計			2,747	5,807	3,302	9,608
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	212	224	536	736
		オ 一般	2,535	5,583	2,766	8,872

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 昨年度実績と比べると「史跡めぐりめぐり・郷土の歴史講座を通じて史跡等文化財について理解を深めた人の割合」が6ポイント、「カルタ会を通じて、史跡等文化財について理解を深めた人の割合」が2ポイント上昇している結果になりました。 (原因) 平成29年度は郷土の歴史講座を実施したため参加人数が増えたことが原因と考えられます。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	市の天然記念物であるマメナシ・アイナシ自生地の適切な保全方法について検討します。 スカイワードあさひ収蔵庫内の考古、民具資料の整理を進めるとともに、市民への展示を行います。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

専門家に自生地の調査を委託し、自生地の適切な保全や実生株の育成をするには、草刈りを定期的に行うことを提言された。平成30年度は草刈りを定期的実施します。  
 歴史民俗フロアで考古企画展・民具企画展・mini民具企画展を開催しました。また、歴史民俗フロアだけでなく中央公民館及び市役所1階ロビーでも展示を行いました。  
 平成29年度に庄中観音堂の円空仏の寄贈を受け、歴史民俗フロアを整備し常設展示を開始しました。

# どうだん亭維持管理事業

[1188]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	25-0106	実施計画
施策	05	文化の継承と振興	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	文化財、伝統文化の保存と継承	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	どうだん亭を利用する市民等	<p>&lt;どうだん亭概要&gt; 日本庭園を有する家屋を社会教育施設として設置。</p> <p>母屋1階3部屋(水屋、呈茶用炉)、離れ1階(水屋、呈茶用炉)、離れ2階、庭園など</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうだん亭の維持管理を実施(各種委託・修繕・管理人への管理委託)</li> <li>・ 貸館 9:00~17:00(1時間母屋350円、離れ150円) 文化スポーツ課文化振興係で申込受付</li> <li>・ 風情ある庭園や家屋を鑑賞できるように一般公開を開催 春(4月)秋(11月)</li> <li>・ 建築後、相当年数を経ており、施設の老朽化に対する修繕等を行っている。</li> <li>・ H20.4 国の登録有形文化財に登録</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設が安全・快適・公平に利用され、常に良好な状態に保たれている。</li> <li>・ 風情ある庭園や家屋に触れることにより市民が安らぎを感じ、文化に親しむようになっていく。</li> <li>・ 国登録有形文化財であることを考慮した利用がなされている。</li> </ul>	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	申込受付件数	件	223	209	300	227	
	一般公開日数	日	22	22	18	18	
成果指標	年間利用者数	人	3,131	3,141	3,500	3,050	
	春秋一般公開鑑賞者数	人	7,797	6,415	8,000	3,605	
事業費 計			5,366	7,310	5,314	5,132	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		383	1,000	400	454
		オ 一般		4,983	6,310	4,914	4,678

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)「春秋一般公開鑑賞者数」が、昨年度実績と比べ43.8%低い結果となっています。</p> <p>(原因)天候不良等の影響により、花の開花時期や紅葉時期が一般公開期間と重ならなかったことが原因であると考えられます。</p>
--------	--	--

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	安定的で継続的な管理運営方法について検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	管理運営方法の情報収集先等について検討した。		

# 社会教育団体等支援事業（文化スポーツ課）

[375]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	25-0202	実施計画	
施策	05	文化の継承と振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	地域文化活動団体の育成	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市文化協会 コンクールや公募展等を主催する団体	<文化振興事業> ・文化協会に長期講座の開催や、文化芸術活動の結果披露等の事業を委託する。 <市民文化祭開催事業> ・市民の文化芸術活動の発表の機会を設ける目的で市民展・市民芸能発表大会・市民音楽祭を開催し、その業務を文化協会へ委託する。 <全国大会等出場者激励費等交付> ・文化芸術団体が文化芸術の振興・奨励を図るため、コンクール等の参加者を対象として交付する優秀賞の記念品代の一部を交付する。 ・全国大会等の出場者に対して、激励費を支給する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
団体の活動を通して文化芸術活動に参加する人口の増加と各人のレベルの向上が図られている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	コンクール等応募者数	人	916	387	4,280	156	
	文化芸術活動加入団体数	団体	74	73	90	74	
成果指標	市民数に対するコンクール等応募者数の割合	%	1.1	0.47	5	0.19	
	市民数に対する文化協会加盟団体数の割合	%	0.090	0.090	0.102	0.088	
事業費 計			3,750	4,874	3,896	3,885	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他			1,000		
		オ 一般		3,750	3,874	3,896	3,885

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が中程度	(状況)「市民数に対するコンクール等応募者数の割合」は、昨年度実績と比べ0.3ポイント低下していますが、応募者数は昨年度よりも231人減少しています。 (原因)多数の小中学生が参加していた書初席上揮毫大会(書道)が開催されなかったことが原因であると考えられます。
--------	---	--

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 文化会館維持管理事業

[376]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	25-0301	実施計画
施策	05	文化の継承と振興	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	芸術文化活動の環境整備	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民、文化会館	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	平成29年度から文化会館改修工事費用を25-0302文化会館改修事業へ分離 平成30年度から土地借上料を文化振興係庶務事務(H30廃止)より振替
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		<文化会館の概要> 1F あさひのホール(293席)、文化会館ホール(1,000席)、喫茶室、事務室 2F 展示室、展示ギャラリー、展示ロビー、研修室、練習室 休館日:毎週月曜日、開館時間:午前8時30分~午後9時30分	
		適正な維持管理を行うことにより、施設利用上の安全及び円滑な施設利用が確保され、住民の文化、教養及び福祉の増進が図られている。	平成19年4月1日から指定管理者による管理に移行 愛知県舞台運営事業協同組合外2団体によるグループ(H29~H30)	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	業務実施状況の確認回数	回	24	24	24	24
成果指標	施設、設備等の故障による利用不可日数	日	0	0	0	0
	施設利用率	%	26	27	30	28
事業費 計			65,315	99,108	65,315	65,615
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		65,315	99,108	65,315

## H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)施設利用率は昨年度実績より1ポイント上昇していますが、H29計画値よりも2ポイント低い結果になっている。 (原因) 昨年度実績のから上昇した要因としては、長久手文化の家の工事に伴い利用者が増えたことが考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	長期修繕耐震化計画に基づき、改修工事の実施設計を行います。 施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。 施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
文化会館改修工事の実施設計を行いました。 公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行いました。 施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断しました。			

# 文化会館改修事業

[377]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業 コード	25-0302	実施 計画	対象
施策	05	文化の継承と振興	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	03	芸術文化活動の環境整備	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民、文化会館	<p>&lt;文化会館の概要&gt;</p> <p>1F あさひのホール、文化会館ホール、喫茶店、事務室</p> <p>2F 展示室、展示ギャラリー、展示ロビー、研修室、練習室</p> <p>[事業内容]</p> <p>平成28年度策定の文化会館ホール天井の非構造部材耐震工事基本設計に基づき、文化会館ホールの特定天井改修を含む施設全体の改修</p> <p>[年度計画]</p> <p>平成29年度 文化会館改修工事实施設計業務</p> <p>平成29～30年度 文化会館改修工事</p> <p>文化会館改修工事監理業務</p> <p>[予算執行計画]</p> <p>平成29年度(繰越明許) 文化会館改修工事实施設計業務 48,945,600円</p> <p>平成29年度(12月補正) 文化会館改修工事 1,400,000,000円</p> <p>文化会館改修工事監理業務 20,000,000円</p> <p>債務負担行為による契約(平成29年度支払い0円、平成30年度1,420,000,000円)</p> <p>平成30年度(当初予算) 文化会館用備品購入費 20,000,000円</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

長期修繕計画に基づき、天井耐震化及び設備の修繕等の改修工事を実施し、文化芸術活動の拠点施設である文化会館が適切に維持管理されている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	改修工事件数	件			1	1	
成果指標	改修工事の進捗率	%			0	0	
指標・事業費	事業費 計					48,946	
	財源内訳	ア 国	千円				6,999
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般						41,947	

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】</p> <p>順調</p> <p>【成果指標の状況】</p> <p>維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】</p> <p>なし</p>	平成30年度から文化会館改修工事を行う。
--------	---	----------------------

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 文化振興計画推進事業

[1069]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	25-0901	実施計画	
施策	05	文化の継承と振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民	手段(事務事業の内容、やり方、手順)  <ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度に策定した「文化振興計画」の進行管理を行う。 デジタルミュージアムの構築 文化振興基金の積立 公共施設のギャラリー化 城山公園一帯の文化の杜としての活用などに取り組み、推進していく。</li> <li>平成29年度で計画が終了するため、今後の計画について模索する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	文化振興計画に掲げた重点事業を推進することにより、市民の文化活動が行い易く、活発になっている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	重点事業の取り組み項目数	件	8	8	8	8	
成果指標	重点事業の取り組み項目率	%	100	100	100	100	
事業費 計			1,000	875	1,000	638	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		510	385	510	148
		オ 一般		490	490	490	490

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)「重点事業の取り組み項目率」は昨年度に引き続き100%となっています</p> <p>(理由)社会情勢の変化に鑑み、文化振興計画の中間見直しを行い、時代に即した取り組み可能な事業を重点事業としたことが理由であると考えられます。</p>
--------	--	---

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	次期文化振興計画の策定について、検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
現行の文化振興計画を当分の間継承することとした。			

# 文化振興係庶務事務【～H29】

[960]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	99-0809	実施計画
施策	05	文化の継承と振興	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 文化スポーツ課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務 課内の職員(文化振興係)	平成23年度より99-0934伝統文化郷土の歴史関係庶務事務を統合 平成30年度より99-0809体育係庶務事務へ統合 庁外文書の收受、メール整理〔紙・電子受付〕(300件*10分 50時間) 庁外文書の発送(100件*10分 20時間) 庁内文書の処理(回覧)〔回覧・閲覧 繰込〕(550件*10分 90時間) 庁内文書の処理(報告)…(回答作成・決裁 繰込)(200件*30分 100時間) 時間外勤務・出張命令書の整理(作成 提出)(12回*120分 24時間) 出勤簿・年次休暇等の整理(作成 提出)(12回*60分 12時間) 課内の備品、消耗品の調達・管理(12回*60分 12時間) 財務会計事務(帳票作成 決裁 複写 繰込)(200件*15分 50時間) 課の決算予算・決算に関する事務(8時間*4日*12月 390時間) 課の行政評価に関する事務(8時間*12月 100時間) 会議・研修会等への参加事務(7人*5回*30分 20時間) その他突発的な事項への対応(4時間*5回*12月 240時間) 体育係との連携事務(H20より)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・課内の庶務事務がスムーズに行われている。  
・事務の見直し、改善により、所要時間の短縮ができています。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	毎日行う業務(～)の1日当たりの平均処理件数	件	20	20	20	20
	庶務事務の所要時間数(年間)	時間	1,200	1,200	1,200	1,200
成果指標	庶務事務における事務改善件数	件	2	2	2	2
	庶務事務所要時間の削減時間	時間	5	5	5	5
事業費 計			2,219	2,233	2,295	2,272
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,219	2,233	2,295

## H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 事務改善件数が計画どおり進捗した。(改善内容:書類保管庫場所等の明示。書類廃棄年度の表示化) (原因) 「文書管理及び職場環境改善に向けた取り組み指針」の手法を取り入れたため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-